

- 問1 明治時代初期、政府による近代化政策にともない、欧米の文化や制度が積極的に取り入れられました。これによって、都市を中心に伝統的な生活様式が急速に西洋風へと変化した社会現象を何と呼びますか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 富国強兵                      2. 文明開化                      3. 殖産興業                      4. 大正デモクラシー
- 
- 問2 1873年から明治政府が行った税制改革では、土地の所有権を認める「地券」を交付し、納税の方法を従来の「米」から「現金」へと変更しました。この改革の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 地租改正                      2. 秩禄処分                      3. 廃藩置県                      4. 版籍奉還
- 
- 問3 明治政府が1873年に発布した、近代的な軍隊をつくるための法令について説明します。この法令は「国民皆兵」を原則としており、満20歳になった男子に対して、それまでの身分に関わらず兵役の義務を課すものでした。この法令の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 治安維持法                      2. 徴兵令                      3. 廃刀令                      4. 国家総動員法
- 
- 問4 大日本帝国憲法における、天皇の地位と権限に関する記述として最も適切なものを選択してください。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 天皇は国政に関する権限を持たず、日本国および日本国民統合の象徴とされた                      2. 天皇は行政権のみを持ち、立法権は帝国議会が独立して行使するものとされた                      3. 天皇は国の元首であり、統治権を総攬（すべてあわせ持つ）する立場とされた                      4. 天皇の権限は内閣の助言と承認に基づく儀礼的なものに限定されていた
- 
- 問5 明治政府が「官営模範工場」を設立した背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦による大戦景気を背景に、不足していた重工業製品を自給自足するため。                      2. 西洋の進んだ機械や技術を導入し、それを民間に広めることで国内産業の近代化を急ぐため。                      3. 金融恐慌による深刻な不況を克服するために、政府が失業者を雇用する公共事業として行うため。                      4. 日米修好通商条約によって失った関税自主権を取り戻すための、外交的な交渉材料とするため。
- 
- 問6 徴兵令の施行に際し、当時の平民（農民など）の間で起きた反応や、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。                      2. 武士と同じ特権が得られると期待した農民たちが、自発的に軍へ入隊した。                      3. 戸主や学生などは徴兵を免除される規定がなかったため、全ての男子が平等に徴兵された。                      4. この法令によって士族の特権が守られたため、士族による反乱は沈静化した。
- 
- 問7 岩倉使節団の一員として欧米諸国を視察した大久保利通や木戸孝允らは、帰国後、当時の政府内で高まっていた「朝鮮に兵を送るべきだ」という主張に強く反対しました。大久保らがこの時に示した、日本の近代化を進めるための基本的な考え方はどのようなものですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 国民の権利を認める憲法を早期に制定し、国会を開設して民意を政治に反映させることを最優先する考え方                      2. 江戸時代から続く幕藩体制を復活させ、地方の武士による統治を強化して秩序を維持する考え方                      3. 海外への出兵よりも、地租改正や徴兵令などによる国内の整備と産業の育成を最優先する考え方                      4. 武力によって近隣諸国との外交問題を解決し、日本の国威を海外に示すことを最優先する考え方
- 
- 問8 幕末から明治初期にかけての政治的な動きについて、1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返上した出来事、その後に発生した新政府軍と旧幕府軍による一連の内戦、そして1871年に藩を廃止して全国を中央政府が直接治めるようにした改革を、発生した順に正しく並べたものを選びなさい。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 戊辰戦争 → 大政奉還 → 廃藩置県                      2. 廃藩置県 → 大政奉還 → 戊辰戦争                      3. 大政奉還 → 戊辰戦争 → 廃藩置県                      4. 大政奉還 → 廃藩置県 → 西南戦争
- 
- 問9 明治政府が地租の税率を「地価の3パーセント」と定めたことにより、当時の農民の間では激しい反対一揆が起こりました。この一揆を受けた政府の対応と、その後の変化について正しく述べているものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 農民の不満を抑えるため、税率を2.5パーセントに引き下げた。                      2. 納税方法を現金から再び米による納付（物納）に戻した。                      3. 土地所有の権利を認めず、すべての土地を国有化した。                      4. 一揆を鎮圧するために税率を5パーセントに引き上げた。
- 
- 問10 明治政府が近代国家の仕組みを整えていく過程において、1868年の「五箇条の御誓文」から1889年の「大日本帝国憲法」発布に至るまでの政治の流れを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 広く会議を興すという方針が示された後、自由民権運動の高まりを受けて国会開設が約束され、立憲国家の体制が整えられた                      2. 王政復古の大号令によって直ちに国会が開設され、その直後に廃藩置県によって地方自治が完成した                      3. 欧米の技術を取り入れるために、憲法の制定よりも鎖国体制の維持を優先し、武士の身分を強化した                      4. 文明開化の影響で国民の政治への関心が失われたため、政府は国会を開設せずに内閣制度だけで統治した
- 
- 問11 明治新政府は、欧米諸国に倣って社会制度の近代化を進めました。その一環として、1873（明治6）年から導入された、1年を365日、1週間を7日とする暦を何といいますか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 太陰太陽暦                      2. ユリウス暦                      3. 太陽暦                      4. 二十四節気
- 
- 問12 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」という有名な一節から始まり、人は生まれながらに平等であると述べる一方で、現実の社会において賢い人と愚かな人、貧しい人と富める人の差が生じるのは、学問をしたかしないかによるものであると説いた明治時代の著作は何ですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 『学問のすゝめ』                      2. 『民約訳解』                      3. 『西洋事情』                      4. 『文明論之概略』
- 
- 問13 明治時代初期の行政改革に関する記述として、1876年に鶴岡県・置賜県・山形県が合併して現在の山形県が誕生した経緯を示す公文書などの記録から読み取れる、廃藩置県以降の動きについて述べた文として正しいものはどれか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 政府は全国の県を細分化し、それぞれの地域が独自の軍隊や貨幣を持つことを奨励した。                      2. 旧大名による地方統治を終わらせ、中央政府が任命した官吏が地方行政を担うようになった。                      3. 廃藩置県と同時に徴兵令が施行され、武士階級のみが軍役を担う制度が確立された。                      4. 版籍奉還により、各藩の領主は引き続き自分の領地を私有財産として管理することが認められた。